

税制調査会（第15回総会）終了後の記者会見議事録

日 時：平成29年11月15日（水）17時50分～

場 所：財務省第3特別会議室（本庁舎4階）

○中里会長

本日の会議は起草会合という形で、「経済社会の構造変化に対する税制の対応」として、経済社会のICT化の進展等を背景とする「税務手続の電子化」や「個人所得課税のあり方」等について取りまとめをどのように行うのかという点について委員の皆様にご議論いただきました。

起草会合ということで、慣例に従いプレスの皆様には今回は御出席いただけなかったということで、大変申し訳ありませんでした。

それぞれのテーマについて議論の概要を申し上げます。

まず、「税務手続の電子化」につきましては、経済社会のICT化や働き方の多様化が進展する中、全ての納税者がICTで簡便・正確に税務手続を行うことができる環境整備を進めるとともに、税務手続に係るデータ活用を推進し、官民を合わせたコストの削減を図ることが重要。こういう方向で意見が集約されつつあるのではないかと思います。

具体的には、個人所得課税の関係では、確定申告・年末調整の電子化を期待するという御意見が多かったように思います。また、法人課税の関係では、企業がICTで作成している申告データをデータのまま円滑に提出できる環境を整備し、電子申告の利用を促進すべきであるという御意見が多く聞かれました。

「個人所得課税のあり方」という点については、ICT化の進展を踏まえて見直す必要があるという方向で意見が集約されつつあるように思います。

具体的に個別の論点ごとに申し上げますと、人的控除の控除方式のあり方については、具体的な見直し案については様々な意見があったものの、主要諸外国における「ゼロ税率方式」や「税額控除方式」、「逡減・消失型の所得控除方式」を参考に、そのあり方を見直していくべきとの方向性はおおむね一致していたように思います。

また、多様な働き方を踏まえた所得計算のあり方については、働き方の多様化を踏まえ、「所得計算上の控除」から「人的控除」に、負担調整のウェートをシフトすることが適当であるという御意見があったように思います。

「経済社会のICT化に対応した所得把握のあり方」については、デジタルエコノミーにおける取引を通じて稼得する者の所得を適切に把握するための方策について検討を進めていくべきであるとの御意見がある一方で、デジタルエコノミーの普及・拡大の重要性にも留意が必要との御意見もありました。

最後に、「老後の生活に備えるための自助努力を支援する公平な制度」として、個人の働き方やライフコースに影響されない公平な制度を構築するという観点から検討

を進めるべきであるといった御意見が聞かれました。

今回は、議論の取りまとめも視野に入れつつ、公開の総会形式として皆様にもおこしいただいて、開催したいと考えております。

私からは以上です。

○記者

取りまとめの中で人的控除に関して様々な意見が、「ゼロ税率方式」だったり、「逡減・消失型の所得控除方式」だったり、色々意見があったという話ですけれども、その意見に関して、順番をつけるというわけではないですが、そうした控除方式があるということだけ載せることになるのか、それとも、その控除方式がふさわしいというところまで記載するのでしょうか。

○中里会長

色々な国を調べてまいりましたけれども、それぞれの国で、それぞれの国の方式を良い方式だとお考えになって採用されているわけです。ですから、私どもも、今すぐにこれが良いのだとするのではなく、このような方式もあり、また別の方式もあり、というようなことになるのではないかと思います。その順番について深読みされるようなことにならないようにしたいと思っています。穏当な感じになっていくと思います。

○記者

二点お願いします。次回の会合の日取りはいつかというロジ的な話の一つ。もう一点は、先ほどおっしゃった所得計算上の控除を人的控除に振りかえていくということでおおむね一致したというお話があったと思いますが、これは原則的に今までどおり税込中立でやっていくという理解でいいのですか。

○中里会長

まず一つ目の日程ですが、これは、委員の皆さんの御都合などを色々考えて具体的に決めていこうと思います。できるだけ早い時期に皆様にもお伝えいたしますので、よろしく願いいたします。

それから、所得計算上の控除から人的控除への移行ですが、大きな増税を考えているわけではありませんので、そこは十分に考えていこうと思います。あまり大きな反響が出ないように、きちんとした形で対応していこうと思いますが、これは議論してみないと分かりませんので、細かいことは制度を仕組む上でということになりますし、本当に具体的な数値の話は政治過程で、党税調、国会の場で色々考えていただけたらと思っています。我々はあくまでも中長期的な視点からの理論的なあり方ということで申し上げることにとどめておきたいと思っています。

○記者

今日、予定時間をかなり超過して議論されていたと思いますが、特に議論が集中したところなどがありましたら御紹介いただければと思います。

○中里会長

文章を読み上げたので、相当時間がかかったのですが、それについて皆さんの意見をお聞きしたところ、今回、かなりの人数の方がいらっしゃったということもあって、発言がめじろ押しで、非常ににぎやかで、特定のことにかなり集中したとかそういうことではありません。皆さんにできる限りおっしゃりたいことをおっしゃっていただくように配慮して、時間の延長もあまり気にせずに、大胆に発言をしていただきました。中には3回も4回も発言なさる方もいて、非常に活発な議論となりました。そうでもしないと皆さんの御意見を目の前でありのままに言っていただく機会は、多くあるようで、それほどありませんから、遠慮無しに色々なことをおっしゃっていただきました。具体的な表現の文章が目の前にありましたので、ああではない、こうではない、と言えて、良い方向にまとめられるのではないかと私はとても喜んでおります。

○記者

以上で終了します。

ありがとうございました。

○中里会長

どうもありがとうございました。

よろしく願いいたします。

[閉会]